

平成26年度
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

1 会議に関する事項

(1) 平成26年度第1回理事会

日 時： 平成26年5月27日（火）14時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成25年度事業報告及び決算報告について
議案第2号 会長の選任について
議案第3号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団施設使用規程の一部改正について
議案第4号 平成25年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(2) 平成26年度第1回評議員会

日 時： 平成26年6月18日（水）14時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成25年度決算報告について
議案第2号 理事及び監事の選任について

(3) 平成26年度第2回理事会

日 時： 平成27年1月19日（月）14時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成26年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(4) 平成26年度第2回評議員会

日 時： 平成27年2月4日（月）11時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 評議員の選任及び解任について
議案第2号 理事の選任及び解任について

(5) 平成26年度第3回理事会

日 時： 平成27年2月4日（水）14時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 役員の選任について

(6) 平成26年度第4回理事会

日 時： 平成27年3月13日（金）14時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成27年度事業計画及び収支予算について
議案第2号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団施設使用規程の一部改正について
議案第3号 事務局職員の任用について
議案第4号 平成26年度第3回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(7) 平成26年度第3回評議員会

日 時： 平成27年3月23日（月）10時～
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成27年度事業計画及び収支予算について

2 沖縄伝統芸能等の公演

(1) 自主公演の開催【年度計画：30公演43回、達成率100%】

30公演43回（定期公演23回,企画公演9回,研究公演1回,普及公演10回）を実施した。

定期公演（19公演23回）【年度計画：19公演23回】

公演名	公演数	回数
組踊	7	7
琉球舞踊	7	8
三線音楽（民謡・古典音楽）	1	1
沖縄芝居	2	4
民俗芸能	2	3

企画公演（6公演9回）【年度計画：6公演9回】

公演名	公演数	回数
組踊（新作組踊等）	1	4
沖縄芝居	0	0
アジア・太平洋地域の芸能	1	1
本土の芸能（寄席、能）	2	2
舞踊	1	1
その他	1	1

研究公演（1公演1回）【年度計画：1公演1回】

公演名	公演数	回数
組踊	1	1

普及公演（4公演10回）【年度計画：4公演10回】

公演名	公演数	回数
組踊鑑賞教室	4	10

日程・演目・出演者

期日等				公演名・演目	出演者
1	定期公演	4月12日	昼	琉球舞踊 琉球舞踊鑑賞会～うりずんの舞～ 「若衆特牛節」「本花風」 「打組汀間当」「加那よ一天川」「あやぐ」他	浦崎えりか、浦崎愛梨、久場貴子、仲村渠智子、大城春香、儀間佳和子、米盛未来、花岡尚子他
2	定期公演	4月26日	昼	組踊 組踊「執心鐘入」 第一部 琉球舞踊「かぎやで風」「高平良万歳」他 第二部 組踊「執心鐘入」	島袋光尋、前當正雄、玉城盛義 他 眞境名正憲、大湾三瑠、神谷武史、佐辺良和他
3	研究公演	5月10日	昼	組踊 「村々に伝わる『組踊』～恩納村～」 第一部 シンポジウム 第二部 「義臣物語」	宜保榮治郎、大湾清之、鈴木耕太他 石川直也、高宮城実人、池間隼人、玉城匠、玉城知世、藤戸瑛子、上原信次

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
4	企画公演	5月22日 5月23日 5月24日 5月25日	夜 夜 昼 昼	新作組踊 第一部 新作組踊「聞得大君誕生」 第二部 創作舞踊「蓬莱島」	坂東玉三郎、玉城盛義、川満香多、親泊久玄、阿嘉修、新垣悟、石川直也、平田智之、宇座仁一、宮城茂雄、金城真次、玉城匠、天願雄一、田口博章
5	定期公演	5月31日	昼	琉球舞踊 第一部 「赤馬節」「鳩間節」他 第二部 「夜雨節」「古見ぬ浦節」他	安村正子、崎原ちさ他 米盛吟子、新城喜美子、比嘉弘子他
6	定期公演	6月14日	夜	三線公演 【10周年記念特別公演】 「三線音楽・三味線音楽」 第一部 津軽三味線、地唄（黒髪） 第二部 三線（独唱）、三線名器 盛嶋開鐘を聴く、琉球音楽	澤田勝秋、木津茂理、井上満智子他 城間徳太郎、照喜名朝一、ミヤギマモル、古謝美佐子、知花小百合他
7	普及公演	6月28日	昼	組踊 「社会人のための組踊鑑賞教室」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「雪払い」	玉城匠 石川直也、岸本隼人、金城真次、田口博章他
8	定期公演	7月12日	昼	民俗芸能 沖縄本当民俗芸能祭(八重瀬町) 第一部 「祈り」「安里のウフデーク」他 第二部 富盛の唐人行列、大和人行列他	八重瀬町民俗芸能連絡協議会
9	定期公演	7月26日	昼	組踊 組踊「月の豊多」 第一部 琉球舞踊「瓦屋」「湊くり節」他 第二部 組踊「月の豊多」	山口友子、時本ひとみ、國本真代、佐辺良和他 宮城茂雄、平田智之、阿嘉修、田口博章、呉屋智、池間隼人他
10	普及公演	8月3日	昼	組踊 「親子のための組踊鑑賞教室」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「女物狂」	玉城匠 玉城盛義、新垣悟、石川直也、池間隼人、古堅聖尚他
11	定期公演	8月16日	昼	琉球舞踊 「男性舞踊家の会」 第一部 「かぎやで風」「高平良万歳」「伊野波節」「八重瀬の万歳」 第二部 「川平節」「むんじゅる」「日傘踊り」「鳩間節」「取納奉行」「わたんじゃ一舟」	阿嘉修、平田智之、佐辺良和、宮城茂雄、大浜暢明、金城真次、大湾三瑠、東江裕吉、神谷武史 石川直也、大浜暢明、新垣悟、金城真次、宇座仁一、玉城盛義他
12	定期公演	8月24日	昼	組踊 組踊「伏山敵討」 第一部 琉球舞踊「かせかけ」「揚作田」他 第二部 組踊「伏山敵討」	饒波園代、西門悠雅、山内小夜、高嶺久枝 親泊久玄、田口博章、海勢頭あける、川満香多他

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
13	定期公演	9月6日	昼	琉球舞踊 「琉舞鑑賞会(豊穡の舞)」 第一部「稲まづん」「大世栄」「仲良田節」他 第二部「むんじゅる」「汀間当」「谷茶前」「秋の踊り」「潮汲一小」「通い船」	宮城りつ子、亀浜律子、喜舎場慶子 孤島丘奈、宮城小寿江、永山玲緒奈、赤嶺啓子、富里敬子、伊舎堂千恵子他
14	定期公演	9月20日	昼	琉球舞踊 【10周年記念特別公演】 重要無形文化財保持者公演「琉球舞踊特選会」 第一部「かぎやで風」「花籠」「本花風」「くにちゃさ」「恋しさよー」「新加那よー」「恋し浜ユーバンタ」 第二部「す玉貫玉」「真踊りの情け」「北風の至情」「兼元大主道行口説」「旅路」「馬山川」	宮城能鳳、親泊興照、玉城節子、玉城秀子、又吉静枝、喜納幸子、佐藤太圭子、志田房子 谷田嘉子、金城美枝子、宮城幸子、親泊興照、島袋光晴、宮城能鳳
15	定期公演	9月27日	昼	組踊 組踊「未生の縁」 第一部 琉球舞踊「上り口説」「天川」他 第二部 組踊「未生の縁」	比嘉祐香、伊藤美砂、石川詩子、宮城由美子他 平田智之、海勢頭あける、金城真次、宇座仁一、真境名律弘、川満俊祐他
16	定期公演	10月4日 10月5日	昼 昼	沖縄芝居 【10周年記念特別公演】 史劇「首里城明け渡し」	玉城盛義、東江裕吉、神谷武史、座喜味米子、花岡尚子、宮城茂雄、平良進、仲嶺眞永、島袋光尋他
17	普及公演	10月16日 10月17日	朝昼 朝昼 朝昼	組踊 「生徒のための組踊鑑賞教室」 第一部 組踊版・シンデレラ～ようこそ組踊城へ～ 第二部 組踊「執心鐘入」	玉城匠、藤戸瑛子、知花小百合、川満香多、岸本隼人、上原信次 田口博章、金城真次、石川直也、川満香多、岸本隼人、上原信次、玉城匠
18	企画公演	10月25日	昼	琉球舞踊 ゆらていく遊ば 第一部 喜劇「鶴亀二児其ノ後ノ嘶～続・二童敵討～」 第二部 歌劇「今帰仁祝女殿内」	宇座仁一、石川直也、高宮城実人、花城英樹、玉城匠、佐辺良和 玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、瀬名波孝子
19	企画公演	11月8日	夜	本土の芸能 「国立劇場寄席」 お囃子、寄席囃子の実演解説、落語、漫才、紙切り	松尾あさ、柳家さん光、林家正楽、橘家圓太郎、柳家我太楼、鏡味仙三郎社中、柳家権太楼

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
20	企画 公演	11月15日	夜	アジア ・太平洋地 域の芸能 【10周年記念特別公演】 「アジア・太平洋地域の 芸能 -韓国・珍島シッキ ムクツ-」 第一部 宮古の神歌 第二部 韓国・珍島シッ キムクツ	長崎国枝、上原敏美、与儀 千代美 宋順丹、朴美玉、姜恩英、 宋永仁、朴秉元、金吾炫、 李宗大、洪玉美、朴桓永、 李太伯、金珉榮、張弼植
21	普及 公演	11月27日 11月28日	朝 昼 朝 昼	組踊 「生徒のための組踊鑑賞 教室」 第一部 組踊版・シンデ レラ 第二部 組踊「女物狂」	高宮城実人、藤戸瑛子、伊 佐幸子、池間隼人、大城淳 紀、仲里綾香 石川直也、新垣悟、親泊久 玄、宮城昭博、池間隼人、古 堅聖尚他
22	定期 公演	12月14日	昼 夜	民俗 芸能 【10周年記念特別公演】 「石垣島四ヶ村のプーリ イ（豊年祭）」 第一部 「ミシャグパー シィ」「道太鼓」「スナイ」 「巻踊り」 第二部 「五穀種子の授 けの儀」「アヒャー綱」 「棒」「獅子」「ツナヌミ ン」 屋外 「大綱曳き」「ガ ーリー」「旗頭」「ツナヌ ミン」	石垣字会、大川字会、新川 字会・双葉、登野城字会
23	企画 公演	12月20日	夜	琉球 芸能 創作舞踊 第一部 「出砂」、「十 五夜（佳作）」「志情の綾 糸（奨励賞）」「遊行流れ （大賞）」他 第二部 「初實」「今帰仁 道行」「新南島風土記・ ニライの島」	玉城千枝、真境名あき、玉 城静江、比嘉いずみ他 安座間明美、新垣満子、山 川昭子、長山真由美、新崎 恵子、呉屋かなめ、小嶺和 佳子、川満香多他

期 日 等				公演名・演目	出演者
24	定期公演	1月10日 1月11日	昼 昼	琉球舞踊 「新春琉舞名人選」 「古典音楽斉唱・舞踊「かぎやで風節」「瓦屋」「取納奉行」「加那ヨー」「下り口説」「本貫花」「花風」「秋の踊り」「稲まづん」「浜千鳥」「前の浜」「汀間当」「ゆうとうい」「諸鈍」「作田」「日傘踊り」「恋の花」	金城清雄、城間盛久、中村一雄、比嘉康春、前川朝文、宮城武碩、銘苺盛隆、赤嶺和子、安慶名久美子、上地七重、上地律子、城間安子、玉城作子、名嘉ヨシ子、屋嘉比桂子、山内照子、新城清弘、宇保英明、比嘉聰、金城道枝、又吉世子、大城和子、花岡勝子、金城千壽子、高江洲清勝、嘉数紀美子、渡久地美代子、金城清一、山田多津子、池原勝子、島袋君子、玉城千枝、海勢頭あける、安次富紀子、宮城豊子、玉城静江、船越節子、眞境名結子、宮城能造、漢那七子、金城光子、宮里敏子、宜保雅子、比嘉美好、山城洋子、我那覇則子、比嘉涼子
25	定期公演	1月24日	昼	組踊 組踊「辺土の大主」 第一部 琉球舞踊 「松竹梅鶴亀」「獅子舞」「取納奉行」「鳩間節」「打組むんじゅる」「金細工」 第二部 組踊「辺戸の大主」	名嘉正光、新屋敷孝子、赤嶺光子、金城由美子、藤戸絹代、諸喜田千華、大田スミエ、上間悦子、宮平友子、喜納かおり、宮城茂雄他 眞境名正憲、高江洲清勝、嘉手苺林一、親泊久玄、佐辺良和、金城真次、宇座仁一、川満香多他
26	定期公演	2月7日	昼	琉球舞踊 「琉舞鑑賞会(初春の舞)」 第一部 「女こてい節」「ぜい」「天川」「前の浜」「本貫花」「高平良万歳」「本嘉手久」 第二部 「琉球の新風～男性舞踊家の競演～」 (平成26年度琉球芸能南米公演・上演作品)	比嘉いずみ、比嘉一恵、喜屋武愛香、呉屋かなめ、大田礼子、小嶺和佳子、宮城裕子 阿嘉修、石川直也、新垣悟、佐辺良和、宮城茂雄、嘉数道彦、高宮城実人、新垣俊道、仲村逸夫、玉城和樹
27	企画公演	2月15日	昼	琉球舞踊 神楽「早池峰大償神楽」 第一部 「御神楽奏上」「式舞(鳥舞)」「番楽舞(鞍馬)」「狂言(田植)」 第二部 「女舞(鐘巻)」「口上」「神舞(天熊人五穀)」「権現舞」	早池峰大償神楽保存会(伊藤均、佐々木隆、佐々木裕、佐々木金男、佐々木偉夫、阿部輝雄、藤原直樹(岩)、吉田伸一郎、佐々木金久、阿部雄一、佐々木栄一、佐々木智、吉田真彦、藤原直樹(甚))

期 日 等					公演名・演目	出演者
28	定期公演	2月28日	昼	組踊	組踊「万歳敵討」 第一部 琉球舞踊 「若衆ぜい」「かせかけ」「前の浜」「伊野波節」「春華」 第二部 組踊「万歳敵討」	仲嶺麗子、仲嶺絵里奈、平良芽美、佐渡山也子、津波明子、田口博章他 玉城盛義、石川直也、島袋光尋、海勢頭あける、大湾三瑠、比嘉良雄他
29	定期公演	3月14日 3月15日	昼 昼	沖縄芝居	歌劇「奥山の牡丹」	花岡尚子、東江裕吉、真栄田文子、平良進、赤嶺啓子、石川直也、金城真次、当銘由亮、祖慶しのぶ、瀬名波孝子、川満香多、上原崇弘、高宮城実人、宇座仁一、岸本隼人、砂川政秀、神谷三千代、仲嶺眞永他
30	定期公演	3月21日	昼	組踊	組踊「忠臣身替の巻」 第一部 琉球舞踊 「天川」「下り口説」「取納奉行」「浜千鳥」 第二部 組踊「忠臣身替の巻」	又吉聖子、阿嘉修、上地美智子、根路銘広美 嘉手苺幸代、宮城能麗、宮城能香 川満香多、平田智之、儀保政彦、神谷清一、海勢頭あける、宮城茂雄、宇座仁一、親泊久玄、真境名律弘他

自主公演入場率

	月 日	公演名		実 績			計 画		
				座席数	入場者数	入場率	座席数	目標入場者数	目標入場率
				(a)	(b)	(b)/(a)	(c)	(d)	(d)/(c)
1	4月 12日	うりずんの舞	昼	249席	160人	64.3%	249席	149人	60.0%
2	26日	執心鐘入	昼	569席	376人	66.1%	565席	339人	60.0%
3	5月 10日	村々に伝わる組踊(恩納村)	昼	565席	305人	54.0%	619席	433人	70.0%
4	22日	聞得大君誕生	夜	632席	568人	89.9%	619席	495人	80.0%
5	23日	聞得大君誕生	夜	632席	567人	89.7%	632席	506人	80.0%
6	24日	聞得大君誕生	昼	621席	563人	90.7%	632席	506人	80.0%
7	25日	聞得大君誕生	昼	621席	563人	90.7%	632席	506人	80.0%
8	31日	八重山の踊り	昼	623席	471人	75.6%	623席	374人	60.0%
9	6月 14日	三線音楽・三味線音楽	夜	623席	387人	62.1%	623席	374人	60.0%
10	28日	組踊鑑賞教室(社会人)	昼	578席	498人	86.2%	565席	424人	75.0%
11	7月 12日	沖縄本島民俗芸能祭(八重瀬町)	昼	566席	498人	88.0%	566席	453人	80.0%
12	26日	月の豊多	昼	565席	480人	85.0%	565席	339人	60.0%
13	8月 3日	組踊鑑賞教室(親子)	昼	578席	434人	75.1%	565席	424人	75.0%
14	16日	男性舞踊家の会	昼	619席	552人	89.2%	623席	374人	60.0%
15	24日	伏山敵討	昼	565席	313人	55.4%	565席	339人	60.0%
16	9月 6日	豊穰の舞	昼	249席	151人	60.6%	249席	149人	60.0%
17	20日	琉球舞踊特選会	昼	623席	553人	88.8%	623席	436人	70.0%
18	27日	未生の縁	昼	565席	286人	50.6%	565席	339人	60.0%

	月 日	公演名		実 績			計 画		
				座席数	入場者数	入場率	座席数	目標 入場者数	目 標 入 場 率
				(a)	(b)	(b)/(a)	(c)	(d)	(d)/(c)
19	10月 4日	首里城明け渡し	昼	622席	541人	87.0%	632席	442人	70.0%
20	5日	首里城明け渡し	昼	632席	554人	87.7%	619席	433人	70.0%
21	16日	組踊鑑賞教室(生徒)	朝	578席	404人	69.9%	565席	400人	70.0%
22	16日	組踊鑑賞教室(生徒)	昼	578席	487人	84.3%	578席	400人	70.0%
23	17日	組踊鑑賞教室(生徒)	朝	578席	241人	41.7%	578席	404人	70.0%
24	17日	組踊鑑賞教室(生徒)	昼	578席	435人	75.3%	578席	405人	70.0%
25	25日	ゆらていく遊ば	昼	568席	505人	88.9%	566席	311人	55.0%
26	11月 8日	国立劇場寄席	夜	623席	488人	78.3%	623席	498人	80.0%
27	15日	韓国・珍島シッキムクツ	夜	619席	339人	54.8%	619席	371人	60.0%
28	27日	組踊鑑賞教室(生徒)	朝	578席	469人	81.1%	578席	404人	70.0%
29	27日	組踊鑑賞教室(生徒)	昼	578席	510人	88.2%	578席	405人	70.0%
30	28日	組踊鑑賞教室(生徒)	朝	578席	382人	66.1%	578席	404人	70.0%
31	28日	組踊鑑賞教室(生徒)	昼	578席	449人	77.7%	578席	405人	70.0%
32	12月 14日	石垣島四ヶ村のプーリィ	昼	568席	477人	84.0%	632席	443人	70.0%
33	14日	石垣島四ヶ村のプーリィ	夜	568席	479人	84.3%	619席	433人	70.0%
34	20日	創作舞踊	夜	623席	365人	58.6%	619席	310人	50.0%
35	1月 10日	新春琉舞名人選	昼	623席	315人	50.6%	623席	405人	65.0%
36	11日	新春琉舞名人選	昼	623席	308人	49.4%	623席	405人	65.0%
37	24日	辺戸の大主	昼	565席	380人	67.3%	565席	339人	60.0%
38	2月 7日	初春の舞	昼	249枚	210人	84.3%	249席	149人	60.0%
39	15日	神楽(早池峰大償神楽)	昼	617席	320人	51.9%	619席	371人	60.0%
40	28日	万歳敵討	昼	569席	380人	66.8%	565席	339人	60.0%
41	3月 14日	奥山の牡丹	昼	568席	465人	81.9%	579席	347人	60.0%
42	15日	奥山の牡丹	昼	579席	483人	83.4%	566席	340人	60.0%
43	21日	忠臣身替の巻	昼	567席	401人	70.7%	565席	339人	60.0%
		合 計		24,450 席	18,112 人	74.1 %	24,574 席	16,461 人	67.0 %

【計画(詳細)：16,461人、達成率110%】

(2) 県外公演の開催【年度計画：1回】

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センターとの共催により、京都芸術劇場春秋座で、組踊「執心鐘入」他、平成26年6月15日に実施した。

(3) 公演事業委員会の開催

平成27年度開催の自主公演のあり方について検討するため、公演事業委員会を平成26年8月11日、平成27年3月27日に開催した。

(4) 沖縄県文化観光戦略推進事業(マグネットコンテンツのつくり込み)

沖縄県文化観光戦略推進事業助成事業の沖縄芸能マグネットコンテンツ育成に関する助成を活用し、観光誘客を目指し、嘉数芸術監督作品「組踊版・スイミー(平成26年12月6日～9日)」及び「かりゆし・かりゆし～恋するシーサー(平成27年3月7日～10日)」を上演した。

また、MICE団体向け買取公演として、子の会による「執心鐘入(平成26年11月20日)」を上演した。

(5) 国立劇場おきなわ連携活用事業

沖縄県と国立劇場おきなわの共催により、国立劇場おきなわ開場10周年特別公演及び当劇場の公演を鑑賞する機会が少ない地域（金武町立中央公民館（11/1）、ちゃたんニライセンター（3/22）、宮古島市マティダ市民劇場（3/29））において県内巡回公演を実施した。

また、児童生徒向け普及公演において、学校側の負担を軽減することで当劇場での鑑賞促進を図ることを目的に、団体バス無料サービスを実施した。

(6) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演チラシ等の作成・配布

(ア) 公演ごとにチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ配布を行った。また、劇場近隣の住宅地にチラシの新聞折込、ポスティングを行った。

(イ) チラシラックを県庁、観光関連施設、道の駅等に設置し、チラシを自由に取ってもらうようにした。また、近隣市町村の公民館にあるサークルボックス（405団体）にチラシを配布した。

(ウ) 那覇（167）と浦添（42）市内の自治会長会へ奇数月にチラシを配布した。

(エ) 沖縄コンベンションビューロー（OCVB）賛助会員に加盟し、OCVBの各事務所、那覇空港出張所等に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

イ 看板、ポスター等掲出

(ア) 劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、ホテル、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。

(イ) 沖縄都市モノレールの窓上広告として、隔月ごとに施設案内及び公演案内のポスターを掲示した。また、モノレール駅舎掲示板に公演案内ポスターを掲示した。

(ウ) 那覇空港内1カ所に電照看板に劇場案内を掲出した。

(エ) 沖縄都市モノレール（ゆいレール）駅全15駅に設置された路線図等看板に、劇場案内を掲出した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

(ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄にて公演告知を行った。 琉球新報の「琉球芸能ガイド」で公演紹介とチケットプレゼントを行った。 沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーで公演紹介とチケットプレゼントを行った。 琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぷらざ」の行事案内欄にて公演告知と、広告欄にて広告掲載（2ヶ月に1回）を行った。
ラジオ	ラジオ沖縄「民謡の花束」とFM沖縄「U Cool Labo」の番組内で公演紹介を行った。 FM沖縄とラジオ沖縄にてラジオCMを行った。
Web	「ぴらつか暦」「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-」「ふくおかサポートネット」「Yahoo!ロコ」「古典文化の友」「長尾さんの観光案内所」「ウォーカープラス」「沖縄LIKES」「たびらい沖縄」「ちゅらとく」
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」「ぴらつか暦」（以上月刊誌）、 「JAL機内配布クーポン誌 ちゅらナビ」「にぎやか談話室」（以上季刊誌）、「そらくる沖縄」（年1回）

(イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

新聞	沖縄タイムス、琉球新報、八重山毎日新聞、朝日新聞、読売新聞
テレビ	NHK、O-TV、QAB、RBC
ラジオ	ラジオ沖縄、RBCiラジオ、FM沖縄
Web	「文化庁月報」「エンタ魂」「沖縄島ガール」「Japan Update」「Okinawa Living」「RQ+」「うらそえナビ」
雑誌	「Island Guide」「おきなわ倶楽部」「コーラルウェイ」「美ら島沖縄」「おきなわ倶楽部」「そらくる沖縄」「JAL機内誌 SKYWORD」「ANA機内誌 翼の王国」「沖縄総合事務局局報 群星」

エ ポスター等展示による劇場外イベント

(ア) 国立劇場（本館・小劇場）琉球芸能公演

平成26年4月19・20日、国立劇場（本館・小劇場）で催された琉球芸能公演「大川敵討」において、チラシ、ポスター及びパンフレットの配布、組踊の紹介DVDの放映を行った。

(イ) 国立劇場おきなわ県外公演

平成26年6月15日、京都市の京都芸術劇場春秋座で催された国立劇場おきなわ県外公演において、チラシ、ポスター及びパンフレットの配布、組踊の紹介DVDの放映、カレンダー及びステージガイドの販売等を行った。

オ その他

(ア) 公演解説書「華風」を月単位で発行し、販売した。

(イ) 日本芸術文化振興会の月刊誌「振興会ニュース」に公演案内を毎月掲載した。

(ウ) 2015年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び及び配付を行った。

(エ) 1月琉球舞踊公演「新春琉舞名人選」の新春公演では、2日間で延べ200名に呈茶を実施し、幕間に抽選による観客へのお年玉プレゼント（カレンダー、劇場グッズなどの詰め合わせ）を行い、新春公演の雰囲気盛り上げた。

(7) バックステージツアーについて

地域への還元を図り、劇場への理解を深める機会を設けるため、「夏休み親子劇場探検ツアー及び組踊ワークショップ」を平成26年7月27日から同月30日まで計4回実施し、計195名が参加した。

3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊（立方・地方）の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

(1) 研修の実施（第4期組踊研修：平成26年4月～平成29年3月）【計画(詳細)：10名】

組踊（立方・地方）：第4期（10名）の1年目の研修を実施。

立方5名及び地方5名（歌三線4名、笛1名）

(2) 主な講師

宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか（総勢14名）

(3) 養成状況

ア 主な授業 組踊実技（立方、三線、笛）、副実技（琉球舞踊、胡弓、太鼓）、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、琉球古典語基礎、詞章研究、発表会等

イ 授業回数 合計316回

- ・組踊実技の実施（90分の149回）
- ・副実技の実施（90分の35回）
- ・基礎実技の実施（90分の99回）
- ・講義研修の実施（90分の16回）
- ・鑑賞・見学研修の実施（90分の11回）
- ・発表会の実施（90分の4回）
- ・講話等の実施（90分の2回）

ウ 休暇等 夏季休暇 平成26年8月11日～8月24日

冬季休暇 平成26年12月12日～平成27年1月4日

(4) 研修生発表会の実施

ア 第四期組踊研修生第1回発表会：平成26年10月9日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：組踊「執心鐘入」

鑑賞者数：412名

イ 第四期組踊研修生第2回発表会：平成27年3月5日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：組踊「二童敵討」、舞踊「かぎやで風」、「かせかけ」、「汀間当」

鑑賞者数：360名

(5) メニュー、研修実施方法等の検討

ア 組踊研修講師会議の実施（年間4回）

イ 養成事業委員会の開催

組踊養成事業に関する現状及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を平成27年2月19日に開催した。

(6) 組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

ア 組踊既成者研修第4回発表会：平成27年1月31日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊：「孝行の巻」、琉球舞踊「かぎやで風」、「女こてい節」、「高平良万歳」、
「久志の若按司道行口説」、斉唱「宮城こはでさ節」

鑑賞者数：286名

4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	37	196	6	239
逐次刊行物	冊	113	188	26	327
公演・演出台本	冊	0	20	21	41
上演資料集	冊	0	11	12	23
合 計		150	415	65	630

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
録画テープ (DVCAM)	本	0	0	49	49
録画テープ (HDCAM)	本	0	0	49	49
DVD	枚	0	12	119	131
ポスター	枚	0	3	48	51
チラシ	冊	0	8	2	10
展示図録	点	0	8	0	8
冊 子	点	0	201	8	209
絵 画	点	0	0	2	2
合 計		0	232	277	509

(2) 上演資料集

国立劇場おきなわの自主公演より演目を選び、上演記録、演技・指導に関する資料・論文等を収録し、演技演出の向上に活用するため刊行した。「未生の縁」、「辺戸の大主」、「忠臣身替の巻」の3演目を各200冊刊行し、各関係機関・研究機関へ配付した。

(3) 展示

国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示することで沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるために実施した。

期 間	名 称	内 容
平成26年 4月12日(土) ～6月22日(日) 72日	第一回 企画展 「琉球舞踊 女七踊り」	「女七踊り」に数えられる作品(「総掛」「天川」「本貫花」「柳」「作田」「伊野波節」「諸屯」)について、衣装、舞台写真やパネルなどを用いて解説し、踊り衣装や小道具などの展示を通して紹介。
平成26年 7月12日(土) ～9月27日(日) 78日	第二回 企画展 「組踊 田里朝直とその時代」	田里朝直は、「口説」や「間の者」を取り入れて玉城朝薫の組踊を継承・発展させた。仇討ちものの創作に優れ、後に続く組踊の方向を決定づけたともされる、田里朝直の世界を紹介。
平成26年 10月4日(土) ～12月14日(日) 72日	第三回 企画展 「石垣島の祭りと芸能」	石垣島で行われている祭りと民俗芸能に焦点をあて、「祈りのかたち」「豊年祭の賑わい」「獅子と仮面」といったテーマを柱に、獅子頭や芸能資料(衣装、小道具等)を展示し、写真や絵図を用いて、石垣島に伝わる祭りと民俗芸能を紹介。
平成27年 1月10日(土) ～3月15日(日) 65日	第四回 企画展 「神楽 早池峰大償神楽」	岩手県・早池峰山で山伏たちが舞ったとされる大償神楽(おおつぐない・かぐら)について、獅子頭や神楽面、装束などを展示し、組踊「執心鐘入」と同じ世界を描いた神楽「鐘巻」など、興味深い世界を紹介。

4回の企画展示の入場者数合計(カウント数):12,988人(287日間)

【計画(詳細):目標来場者数12,000人(達成率108%)、計画日数281日】

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

ア 自主公演30公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演（3回）の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を4回実施、入場者数合計794人。【計画(詳細): 4回、600人(達成率132%)】

(5) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

ア 活用実績

レファレンスルーム利用者1,434人(うち一般496人)

映像・音声視聴1,237件(904時間)、映像・音声複製53件(73時間)

公開資料:平成16年度～26年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

イ その他

国立劇場おきなわでは、レファレンスルームにおいて、「宮古の神歌と韓国・珍島シッキムクツ」(11/15)「石垣島四ヶ村のプーリィ」(12/14)「神楽」(2/15)の各公演に合わせた関連図書資料を紹介するコーナーを設置した。

(6) 沖縄芸能史年表

沖縄の伝統芸能の上演に関する芸能史を調査編集し、報告書を作製した。

ア 県内刊行の新聞『琉球新報』等4紙から琉球・沖縄に関する芸能記事を調査編集し、沖縄芸能史年表「第十一集」として報告書を作製・刊行した。

(7) 展示パネル等の活用

組踊等の沖縄伝統芸能の普及のため、沖縄県と共催した「国立劇場おきなわ連携活用事業」による組踊と琉球舞踊の県内巡回公演(金武町立中央公民館(11/1)、ちゃたんニライセンター(3/22)、宮古島市マティダ市民劇場(3/29))に合わせて、劇場ロビーで組踊の紹介を中心とした展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況(大劇場、小劇場、稽古室等)

平成26年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	10	13	
演劇	2	3	
舞踊	21	32	
古典音楽	2	3	
民謡	0	0	
民俗芸能	2	3	
その他	9	13	講演会等
計(1)	46	67	利用可能日数117日
目標日数		74	
達成率		90%	

※平成25年度の実績と比較すると、件数で1件の増、使用日数で7日の減。

イ 小劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	6	7	
演劇	15	24	
舞踊	36	56	
古典音楽	4	5	
民謡	1	2	
民俗芸能	8	13	
その他	19	20	講演会、研修会
計(2)	89	127	利用可能日数174日
目標日数		99	
達成率		128%	

※平成25年度の実績と比較すると、件数で9件の減、使用日数で14日の減。

ウ 大劇場+小劇場

合計	件数	使用日数	達成率	※平成26年度計画における 目標使用日数：173日
(1)+(2)	135	194	112%	

※平成25年度の実績と比較すると、件数で8件の減、使用日数で21日の減。

エ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	156件	714.5時間
中稽古室	339件	978.5時間
第1小稽古室	231件	1,453.0時間
第2小稽古室	418件	1,343.0時間
第3小稽古室	389件	966.0時間
第5小稽古室	340件	863.0時間
第6小稽古室	412件	1,087.0時間
交流プラザ	91件	220.0時間
養成研修室	143件	401.5時間
会議室	23件	110.5時間
合計	2,542件	8,137.0時間

※平成25年度の実績と比較すると、件数で254件増加し、使用時間で1,193.5時間増加している。

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

- ア 施設利用の情報をホームページに掲載し、また、貸劇場の空き日状況を掲載した。
- イ 劇場利用のご利用案内を校正・増刷し、貸劇場の広報宣伝を行った。
- ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。
- エ 平成26年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。
- オ 稽古室のご利用案内を増刷し、館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

(1) 業務委託費

- ア 警備業務請負契約
- イ 清掃業務請負契約
- ウ 施設運転監視業務請負契約
- エ 舞台技術常駐業務請負契約
- オ 劇場案内等業務委託契約

- (2) 機械保守費
 - ア 中央監視システム保守点検業務請負契約
 - イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約
 - ウ 舞台機構保守請負契約
 - エ 音響設備定期保守業務請負契約
 - オ 照明設備定期保守業務請負契約
 - カ 映像収録設備定期保守業務請負契約

7 前述の業務に附帯する業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加を図った。

平成27年3月末現在会員数：1,952人【年度計画：2,200人、達成率88%】

(単位：人)

会 員 数 推 移												
年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
会員数	146	774	1,142	858	1,009	1,242	1,262	1,445	1,657	2,193	2,073	1,952

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。

イ 会員対象催事の実施：自主公演を継続して鑑賞する会員の便宜を図ることを目的として、次のとおり会員対象のイベントを開催した。

(ア)「半日バスツアー及び公演鑑賞会」：平成26年5月10日、参加人数40名。バスにて玉城朝薫の墓、末吉公園、万寿寺跡等を巡り、組踊解説を行った。その後、劇場において、組踊ミニ講座（「義臣物語を10倍楽しむ方法」）及び公演（「村々に伝わる組踊」）の鑑賞を行った。

(イ)「公演「月の豊多」主演者とのアフタートーク」：平成26年7月26日、参加人数40名。公演終了後、出演者と直接話をする機会として会員からの質疑応答や記念撮影を行った。

(ウ)「朝薫の五番をめぐる旅（バスツアー）」：平成26年11月22日、参加人数40名。末吉公園、森川公園、屋良ムルチ、勝連城址等を巡り、専門ガイドが組踊（朝薫の五番）の解説を行った。

(エ)「新春講演会」：平成27年1月24日、参加人数75名。小劇場において、映像により組踊や講演会後に上演される公演「辺戸の大主」について解説を行った。

(オ)「公演「万歳敵討」主演者とのアフタートーク」：平成27年2月28日、参加人数43名。公演終了後、出演者と直接話をする機会として会員からの質疑応答や記念撮影を行った。

(2) 寄付金の実績

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

(単位：千円)

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	金額	1,350	350	275	1,975
収入	件数	17件	3件	18件	38件

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場募金を募った。

(単位：千円)

		職 場
募金収入	金 額	710
	件 数	177件

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（環境整備事業）

沖縄県の助成事業を活用して、観光客が円滑に周遊・移動できる仕組や県民を誘客するための仕組の構築、効果的な宣伝方法の検証等を目的に次の取組を実施した。

ア バス運行実証事業（団体バス無料サービス）

団体客（県外及び県内離島団体は10名以上、県内団体（離島を除く）は25名以上）を対象に、公演当日に無料でバスを配車し、劇場まで送迎を行うサービスを実施した。平成26年7月26日から平成27年3月21日までの普及公演を除く自主公演及びマグネットコンテンツ公演の計21公演32ステージを対象に実施したところ、延べ37団体・1,704人・バス49台の利用があった。自主公演売上率は74.1%と過去最高であったが、自主公演における団体バス無料サービス利用者数1,248人を除いた場合は69.0%となることから、当該事業による集客効果は大きかったと考えられる。

イ プロモーション事業

(ア) 「沖縄リゾートEXPO」への出展

ウ 修学旅行等誘致事業

(ア) 全国修学旅行研究協会理事長等3名を招聘し、意見交換会を実施

(イ) 旅行代理店と連携し、県外からの団体客向けにワークショップを開催（2回）

(ウ) 県外先進地（山本能楽堂）の視察及びヒアリングを実施

エ 宣伝広告費関係

(ア) 「スイミー」及び「シーサー」の専用ホームページの設置

(イ) 「スイミー」及び「シーサー」のPR用動画の制作しYoutube上で公開

(ウ) 国立劇場おきなわ公式Facebookページの設置

(エ) 沖縄観光情報サイト「たびらい沖縄」に組踊の紹介記事を掲載し、その中で「スイミー」を紹介

(オ) 沖縄好きが集まるFacebookページ「沖縄Likes」に国立劇場おきなわの紹介記事を掲載し、その中で「スイミー」と「シーサー」を紹介

(カ) JALの機内誌「SKYWORD 1月号」及びANAの機内誌「翼の王国 2月号」に組踊の紹介記事を掲載し、その中で「シーサー」を紹介

(キ) 「スイミー」及び「シーサー」の公演案内を沖縄県庁前のタウンビジョンにて放映（日本語、英語、台湾語）

(ク) 「スイミー」及び「シーサー」の公演案内をFM沖縄にて放送

(ケ) 「スイミー」及び「シーサー」の公演チラシ・ポスターを作成

(コ) 「シーサー」の公演チラシを新聞に折り込み劇場近隣エリアに配布

(サ) 「シーサー」の公演ポスターを沖縄都市モノレール駅舎にて掲示

(4) 劇場ホームページの充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 平成26年度アクセス件数 374,129件（1日平均1,039件）【年間計画：236,000件、達成率158%】

イ メールマガジン（月1回発行）登録件数500件。（平成27年3月末時点）

ウ 公式Facebookページを平成26年11月に開設。「いいね！」件数612件。（平成27年3月末時点）